

メサイアをうたう会 結成30周年記念演奏会

若き日のヘンデル

G.F.ヘンデル 作曲 田崎瑞博 合唱編曲



「主が家を建てるのでなければ」

Nisi Dominus HWV238

シャンドスアンテム第2番「私は主に依り頼む」

Chandos Anthem No.2 "In the Lord put I my trust" HWV247

オルガン協奏曲 へ長調 作品4-4

Concert for Organ in F-Dur op.4-4 HWV292

「主は言われた」

Dixit Dominus HWV232

指揮 田崎 瑞博

ソプラノ 星川 美保子 アルト 志田 理早 テノール 辻 裕久 バス 小笠原 美敬

合唱 メサイアをうたう会

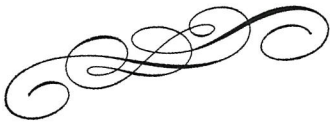
オーケストラ アンサンブル・パルナス東京

2023年11月26日(日) 開場13:30 開演14:00

浜離宮朝日ホール 全席自由 2,000円

お問い合わせ：メサイアをうたう会事務局 090-4018-3017

主催：メサイアをうたう会 (東洋英和女学院同窓生有志の会)



ヘンデルは後年『音楽の母』と称され、当時は、『父』たるバッハをはるかに凌ぐ名声を得ていました。その理由の一つは、ヘンデルの音楽の持つ親しみやすさ、明快さによるものです。それらの特徴は、一般的には芸術の内実の深さに繋がらないことが多いのですが、ヘンデルの作品はそのすべてを兼ね備えています。

イタリアで活躍した青年期の「Dixit Dominus」は、彼の傑作群の一角を占めています。プロフェッショナルの合唱団を想定して書かれたこの難曲は、だからこそ彼が全身全霊を傾けた結晶と言えます。

ほかに本公演では、ロンドン時代初期のアンセムとオルガン協奏曲を演奏します。なお、このオルガン協奏曲は、200年近く経た日本において、作家宮澤賢治に強烈な印象を与え、そこから「告別」という詩を生んだことが近年の調べで明らかとなっています。

田崎瑞博

アンサンブル・パルナス東京

ヴァイオリン	川原 千真	大谷 美佐子
ヴィオラ	三輪 真樹	鈴木 友紀子
チェロ	小貫 詠子	
コントラバス	蓮池 仁	
オーボエ	森 綾香	
オルガン	能登 伊津子	

浜離宮朝日ホール 住所: 〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階 TEL: 03-5541-8710

交通案内 (電車)

- ・「築地市場駅」都営大江戸線 (A2出口) すぐ
- ・「築地駅」東京メトロ日比谷線 (1, 2番出口) より徒歩約8分
- ・「東銀座駅」東京メトロ日比谷線 / 都営浅草線 (6番出口) より徒歩約8分
- ・「汐留駅」都営大江戸線 (新橋駅方面改札口) / 新交通ゆりかもめ (改札口) より徒歩約10分
- ・「新橋駅」JR (汐留口) / 東京メトロ銀座線 (1, 2番出口) / 都営浅草線 (改札口) より徒歩約15分

